

ポイント

◆◆特集◆◆

★ダブル連結トラック実験★

～トラック輸送の生産性向上に資する道路施策の推進～

(国土交通省 道路局 企画課)

深刻なトラックドライバー不足が進行するなか、1台で通常の大形トラックの2台分の輸送が可能な「ダブル連結トラック」の導入を図り、トラック輸送の省人化を促進することとしております。

本稿では、この「ダブル連結トラック」の取組の概要や平成28年11月から開始した社会実験の実施状況等について紹介します。

◆◆道路占用Q&A◆◆

★道路協力団体の行う道路占用について★

(国土交通省 道路局 路政課 道路利用調整室)

道路協力団体の行う道路占用について解説する。

◆◆TOPICS◆◆

★滋賀県の道路情報提供サイト「ロードネット滋賀」の運用開始について★

(滋賀県 土木交通部 道路課)

滋賀県では、従来から「冬期ロードネットしが」の名称でインターネットにより、冬期の間(12月～3月)路面の積雪・凍結情報やカメラの映像を公開し、一般ドライバーへ道路情報の提供を行ってきた。

今般、既存システムの老朽化に伴うシステム更新に併せ、「冬期ロードネットしが」の公開ページを一新し、「ロードネット滋賀」に名称を変更するとともに、カメラ映像の通年公開・道路の通行規制情報の追加を行った。

本稿では、平成28年12月から滋賀県で運用を開始した、道路情報提供サイト「ロードネット滋賀」について紹介します。

## ◆◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◆

### ★バイパス整備と現道を活用した地域の取組み★

(北陸地方整備局 道路部 路政課)

近年、自動車交通の増加や車両の大型化などにより市街地への自動車流入の対策としてバイパスの整備が進められています。一方、現道においては、バイパスの開通に伴って交通量や人の動きなどが大きく変わることとなります。

そこで、現在整備中の新潟市内の国道8号白根（しろね）バイパスの整備と現道の活用に関する地域の取組みをご紹介します。

.....

### ★静岡県における道路の維持管理の取組について★

～道路法第37条に基づく電柱の占用制限道路の指定・除草費用縮減のための技術検討～

(静岡県 交通基盤部 道路局 道路企画課)

静岡県では、県民の命と暮らしを守り、地域の自立と豊かさを実現する“みちづくり”を効率的かつ着実に進めていくため、真に必要な道路は“整備”しつつ、今ある道路施設を効率的に“保全”し、有効に“活用”する「道路マネジメント」の考え方を推進しています。本稿では、本県の維持管理の取組として、道路法第37条に基づく電柱の占用制限道路の指定・除草費用縮減のための技術検討について御紹介します。

.....

### ★APIによる通行規制情報のリアルタイム・オープンデータ化★ 道路管理統合GIS「しずみちinfo」

(静岡市 建設局 道路部 道路保全課)

静岡市では道路の通行規制情報や災害情報等を様々な方法で拡散するため、リアルタイムにオープンデータとして提供する方式を開発し、運用を開始しました。

「誰もが」、「容易」に、道路情報をはじめとする「最新の行政情報」を Web アプリなどに取り込み、新たなサービスを開発することを可能とした今回の取組みを紹介いたします。

## ◆◆編集後記◆◆

爽やかな風が心地よく新緑が目には鮮やかな5月は、趣味であるウォーキングに適した日が続いたため、近所の公園や街歩きを楽しむことができました。なかでも、商店街のお茶屋さんには並ぶ新茶を目にすると、中学生時代に茶摘みを手伝った記憶がよみがえります。

当時、新茶の時期になると、茶処である静岡県で茶摘みの手伝いをしていました。茶葉は、ひとつひとつ丁寧に摘みとらなければならないため、まだ夜も明けない暗いうちから日が暮れるまで、1日中汗を流したことを懐かしく思い出します。摘み取る作業が終わった後には、自家用として“釜炒り茶”作りの体験をさせていただきました。摘み取った葉を専用の大きな釜で炒った後、庭に敷いたゴザに広げて乾燥させます。翌日、茶葉を手で揉みながら針状に形を整えたら出来上がりです。出来立ての新茶の味は、甘くまろやかで、若葉のさわやかな香りが口の中いっぱいになり、それまで飲んでいただいていたお茶とは全く別の飲み物のように感じられ、前日の疲れを忘れるほどの美味しさでした。最近では、ペットボトル入りのお茶を手軽に飲めるようになったため、急須でお茶を入れて飲むことは少なくなりました。今振り返ってみると、自分で摘み取ったお茶を飲むことができた茶摘みの手伝いは、とても貴重な体験だったと思っています。

お茶は、日本人の生活に古くから親しまれてきました。なかでも、朝に飲むお茶は、朝茶といい、一日の災難から守ってくれる縁起が良いものとされています。「朝茶は福が増す」「朝茶はその日の難逃れ」などのことわざがたくさんあるので、毎朝、お茶を飲んでいる母に聞いてみました。すると、「朝にお茶を楽しめるぐらい規則正しく早起きして準備をすれば、その日の行動や心に余裕が生まれる」という意味があり、母も祖母から教えられて飲み続けているとのことでした。また、お茶にまつわる縁起ものといえば茶柱があり、「茶柱が立つと縁起が良い」と言われています。茎の部分が急須の網を抜けて湯のみに入ることは珍しく、そのうえ、お茶の中で立つとなるとなかなか目にすることが難しいことから、珍しいもの見ることが出来るのは吉兆（幸運）の知らせで、縁起が良いとされたそうです。私自身、これまで何度か茶柱が立ったことがあり、周りの人に自慢していましたが、どうやら、人に知られずにこっそり飲み込まないと幸運を呼び込むことができないようです。皆さんも、もし茶柱が立った時には内緒でそっと飲み込むことをおすすめします。

朝茶の縁起の良さにあやかりたいと、毎朝、急須でお茶を入れて飲むことを心がけるようになりました。これまでは、目覚めが悪く、せわしく出かける準備をすることも多くありましたが、朝茶を飲むために早起きをするようになってから、朝のうちに洗濯を済ませたり、1日の行動予定を考えたりと、時間や心に余裕が生まれてきたように感じています。ちなみに、お茶には、悪玉コレステロールの減少やガン予防に効果のある“カテキン”、覚醒効果やリラックス効果のある“カフェイン”など健康に役立つ成分が多く含まれており、体にも良いことがわかりました。これからも朝茶の習慣を続けていきたいと思っています。(K)